

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：角・澤村]

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

令和2年度 病害虫発生予察情報 技術情報第2号

令和2年6月29日
島根県病害虫防除所

水稻における斑点米カメムシの発生状況について

斑点米カメムシ類（主にアカスジカスミカメ）の発生が平年に比べ多くなっています。今後、水稻出穂により本田へ移動する恐れがあります。発生状況の把握に努めるとともに、適切な雑草管理及び防除をお願いします。

1 現在の発生状況

- 1) 出雲市の予察灯（60W白熱灯）におけるアカスジカスミカメ（図1）の累計誘殺数が、6月第5半旬までに76頭（平年12.4頭）と平年に比べ多い。（図2）
- 2) 6月下旬におけるほ場周辺のイネ科雑草すくい取り調査において、斑点米カメムシ類の発生ほ場率は70.5%（平年63.4%）、平均頭数は12.4頭/20回振り（平年8.5頭）と平年に比べやや多い。優占種はアカスジカスミカメであった。
- 3) 中国地方1か月予報（6月27日～7月26日、広島地方气象台6月25日発表）によると向こう1か月の気温は平年に比べ高い～平年並の確率が90%、降水量は平年に比べ少ない～平年並が60%と、本種の発生に助長的である。



図1 アカスジカスミカメ（成虫）

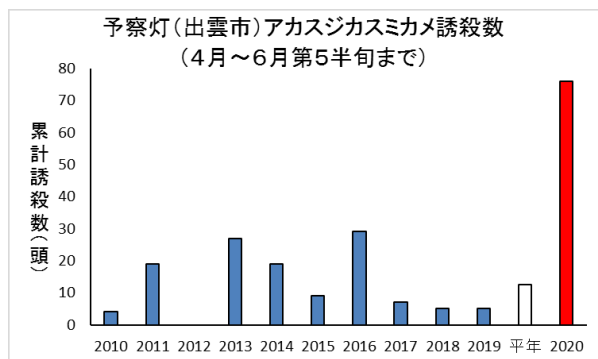


図2 アカスジカスミカメ誘殺数

2 防除対策及び防除上の注意事項

- 1) 畦畔の草刈りは遅くとも本田出穂10日前までに行う。以後収穫まで雑草の穂が再生しないように管理する。
- 2) 出穂期の早い品種は集中加害を受ける可能性があるため注意する。
- 3) ほ場内のヒエ類などの穂はカメムシ類の増殖源となるので早急に処分する。